

**公益信託世田谷まちづくりファンド**  
**第18回（平成22年度）助成事業審査講評**  
**【 ネット文庫部門 】**

〔 4-1 認知症予防しようネット 〕

運営委員長 土肥真人

はじめの一步から4年の間、活動を継続されたことに敬意を表します。私自身は認知症のことをあまり知らないのですが、しかし本人にとっても家族や介護者にとってもつらいことの多いことだとは聞いております。ぜひ活動の経緯や内容などを、そしてネットとまちのつながりを、ビジュアルにまとめていただければと思います。

運営委員 板垣正幸

プレゼンテーションも皆さん大変元気で本当に驚きました。既に認知症予防のために様々な活動に参加され、またご活躍とのことでした。元気高齢者として引き続き元気に活動して下さい。

運営委員 市川 徹

活動はこれまで地道に続けられてきたもので、大変すばらしいと思います。しかし、それに比べホームページの制作費が少々高いように思います。確にかっこよく見せることも重要かもしれませんが、中身が伴っていなければ意味がありません。まずは活動の中身の整理に重点を置いてください。ぜひ他の団体に伝えられるノウハウやヒントをお願いします。

運営委員 鵜尾雅隆

平均78歳というメンバーで取り組まれている活動であり、3年間、しっかりと地に足のついた活動を展開されてきていることに敬意を表します。ネット文庫の事業としては、認知症予防ネットの経験を、どの視点で、どんな内容で他団体に伝えるのか、具体的にどの部分が参考になるのかという点の整理については、まだまだこれからだという印象もあります。その点は、しっかりとご検討いただくよう期待しています。

運営委員 小河原孝生

認知症予防を通して、これまでの活動から見えてきたこと、まちづくりとの関わりなど、伝えたい理念やメッセージを明確にして、ファンドの仲間呼びかけるなど、コンセプトワークから手伝ってくれる人に、外注されることを望みます。

運営委員 小原美穂

高齢者によるまちづくりのノウハウをぜひ、形にしてください。この活動が人々に勇気を与える可能性を秘めていると思いました。勇気とは、「よし、やってみよう」「参加し

**公益信託世田谷まちづくりファンド**  
**第18回（平成22年度）助成事業審査講評**  
**【 ネット文庫部門 】**

てみよう」と、一歩前に踏み出す勇氣。年を重ねるにつれ、この一歩がなかなか踏み出せないでいる方に伝わることを期待します。

運営委員 影山知明

活動内容自体、とても地道に成果を出して来られていると思いますが、それをネット文庫としてコンテンツ化した場合の情報ニーズがうまく想像できませんでした。通常のホームページやブログでもいいのでは、と感じました。

運営委員 佐谷和江

みなさんのノウハウや活動内容がわかりやすく表現された Web サイトになるよう願っています。内容を更新しやすいように、ブログとのリンクを考えてみてはどうでしょうか。

運営委員 首藤万千子

ご自分たちに必要な活動を創り出して来られた皆さんの活動の記録を皆が参考にできるようにネット文庫にするのはよい考えだと思います。ご高齢の皆さんがネット文庫にチャレンジするのもすごいことだと思います。とても期待しています。

運営委員 福永順彦

活動の成果を言葉にしていくことは大変だと思いますが、切実な思いが伝わってきました。

**公益信託世田谷まちづくりファンド**  
**第18回（平成22年度）助成事業審査講評**  
**【 ネット文庫部門 】**

〔 4-2 NPO法人玉川まちづくりハウス 〕

運営委員長 土肥真人

審査会のときにも申し上げましたが、長年にわたる多彩でまた地道な活動を、どのように切り取り見せていただけるのか、本当に楽しみです。また玉川まちづくりハウスの歴史をまとめることは、日本のまちづくりの歴史の大きな一ページを綴ることになりますよね。大変な作業だと思いますが、ぜひがんばってくださいますようお願いいたします。

運営委員 板垣正幸

貴団体の活動暦が20年になることに敬意を表します。まちづくりは継続することが一番の課題であります。見事に克服されていると思います。是非その継続性の秘訣も含めてまとめられることを期待します。

運営委員 市川 徹

ファンドへ16年ぶり？という登場に大変びっくりです。その16年間の活動の蓄積をまとめていただくことは非常に意義のあることですが、ネット文庫部門の趣旨を踏まえ、自分たちのことばかりでなく、他の団体へ伝えることのできる活動のノウハウやヒントもぜひその膨大な蓄積の中から発見していただければ、と思います。

運営委員 鵜尾雅隆

長く地道に地域での活動をしてきておられ、かつ、これまでも様々なノウハウや経験を発信してこられたことは素晴らしいと思います。数多くの経験と蓄積があるからこそ、ネット文庫の内容としては、量より質、分かり易く、読みやすいように、メッセージを絞り込んでいただくことを期待しています。

運営委員 小河原孝生

16年ぶりに、ベテランNPOが登場です。91年から10年間の活動を紹介するだけでも、相当なノウハウが含まれていると思いますが、今のホームページとの連携で、さらに情報を絞り込んで、日本中のまちづくりNPOが参考にできるノウハウが、開示されることを期待しています。

運営委員 小原美穂

相当数の事例をお持ちなので、その事例の中から、これからのまちづくりでも活用できるノウハウを抽出して、構造化されることを期待しています。また、問題に直面したときに、どう乗り切ったかなど、（ある意味）失敗例も取上げるとこれから活動される方たちにはとても参考になると思います。

**公益信託世田谷まちづくりファンド**  
**第18回（平成22年度）助成事業審査講評**  
**【 ネット文庫部門 】**

運営委員 影山知明

その実績自体、疑いようのないところかと思いますが、これまでの経験値を取りまとめ、他団体による活用を促していく上での方法論に、もう少し何らかのユニークさがあったらと思いました。

運営委員 佐谷和江

これまでの活動のアーカイブと新鮮な情報提供の両方があるといいと思います。また、情報とともに考え方や技術も伝えてもらえる Web サイトになることを期待しています。

運営委員 首藤万千子

玉川まちづくりハウスの 20 年を振り返るネット文庫にはとても興味があります。まとめるのが大変だと思いますが、大先輩として楽しみにさせていただきます。

運営委員 福永順彦

これまでの活動と実績を考えると、今後まちづくりをしていく人にとって本当に貴重なデータができるのだろうと期待しています。

**公益信託世田谷まちづくりファンド**  
**第18回（平成22年度）助成事業審査講評**  
**【 ネット文庫部門 】**

〔 4-3 NPO法人映画表現育成協会FILMe 〕

運営委員長 土肥真人

ネット文庫部門の枠組みを利用した新しい提案だと感心しました。映像がどのようにまちとつながるのか、まちで開催される映画祭とは違った提案を、いただいたと思います。ぜひファンドの仲間たちに素材になってもらって、技術の紹介と同時に彼らとのつながりを強めていていただきたいと思います。われもわれもと殺到するようになればしめたものですね。

運営委員 板垣正幸

映像を通したまちづくりは、3年間に渡り様々な企画で楽しいまちづくりが広がったのではないかと思います。引き続き多様な活動を期待します。

運営委員 市川 徹

映像の作成ということについては、有効な情報発信手段ということもあり、「やってみたくてはどうしていいかわからない」という団体もきっと多いことと思います。そういう意味では、今回の申請内容が完成したら、他の団体にも非常に参考になりそうです。なるべく平易でわかりやすい内容で取り組んでもらえるとよいと思います。

運営委員 鵜尾雅隆

他団体にも役に立つ映像制作ノウハウの配信や、「まちづくり」を映像を活かして伝えていくという視点は興味深く、意義あるものと思います。まちづくりの取り組みとしては、ユニークな取り組みをしてきているFILMeですが、逆に他の多くの団体とは全く違った経験もしていることもあると思います。ともすれば、特殊な経験の紹介に終わってしまわないように、ネット文庫事業の中で、いかに他の団体にとって具体的に参考になる内容を発信するかが課題と思います。

運営委員 小河原孝生

3年間、映像によるまちづくりという、新しい分野を切り開いてきた経験やノウハウは、すべてのまちづくり団体の役に立つと確信しています。さらに、映像配信の無料サイトの活用など、最先端の情報を提供していただけることを期待しています。

運営委員 小原美穂

確かに技術の進歩で映像を気軽に見られるようになりましたが、配信する方法についてはテクニックが必要だと思います。また、まちづくり活動の中でPR手段に困っているという声も聞きます。伝えるための手段の1つとして映像は有効的だと思います。経済

**公益信託世田谷まちづくりファンド**  
**第18回（平成22年度）助成事業審査講評**  
**【 ネット文庫部門 】**

的負担をおさえつつ魅力的な映像にするためのノウハウが多くの方と共有できるようになると、まちづくり活動の幅が広がるように感じました。

運営委員 影山知明

普段から映像を扱っていらっしゃるだけに、動画コンテンツの企画や制作にお強いのだと思います。とすると、「世田谷×まちづくり」というテーマでの、インターネットTV（まちづくり放送局）としての媒体への発展可能性まで感じられ、そこでのビジネスモデルづくりをも含め、ぜひ成果を期待したいと思いました。

運営委員 佐谷和江

発表の時に話されていたように、映像でノウハウを伝える部分が多様に盛り込まれているとよいと思います。

運営委員 首藤万千子

興味深い活動ではあったのですが、他の2団体との関係から投票できませんでした。結果的に助成を受けられて良かったと思います。映像によるまちづくりの記録、まちづくりファンドで得られた経験を皆が共有できるようなものにしていただけたらと思います。

運営委員 福永順彦

映像を切り口に、地域で様々な活動されてきた成果を、まちづくりにつなげてきた経緯を残すことは、ドキュメンタリーとしてもユニークなものになりそうですね。